

令和4年度当初予算～第五次総合計画のスタート～



これまで築いてきたハード・ソフトの「まちの基盤」を舞台に、
「目指す2030年の姿」の実現に向け未来を創造していくための予算

令和4年度当初予算のポイント

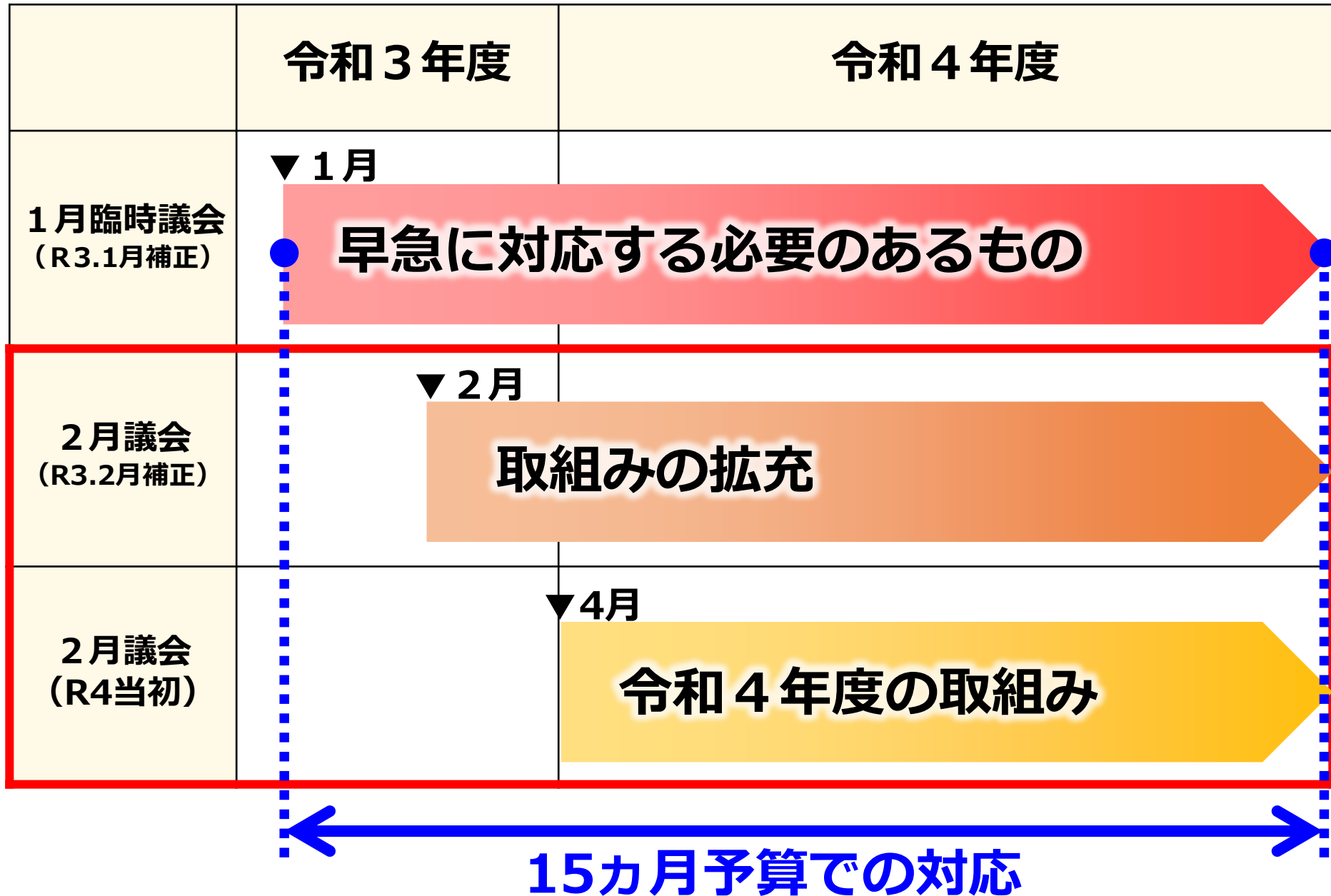
重点的に取り組む4つのテーマ

1. コロナ禍からの社会・経済の復興
2. 人口減少克服・長崎創生に係る取組み
3. 官民挙げたデジタル化の加速による暮らしやすさの向上
4. ゼロカーボンシティの実現に向けた取組み

トピック

- 新幹線開業に向けた取組み
- その他の主な事業

予算計上のタイミングの考え方



1. 感染拡大防止対策

感染拡大防止効果の最大化

2. 社会経済対策

社会経済への影響の最小化

3. ポストコロナ対策

ポストコロナ社会に対応した都市へのレベルアップ

コロナ禍からの社会・経済の復興 関連予算整理表

総計7,565,110千円
(15カ月予算)

	感染拡大防止対策		社会経済対策		ポストコロナ対策	
	保健・医療提供体制の確保	感染防止策の徹底	安全・安心を確保した社会経済活動の維持・再開	長期的な影響により疲弊した事業や生活・暮らしの支援	将来を見据えた社会基盤・経済基盤への投資	安心と成長を呼ぶ「人」への投資の強化
事業費	計399,571千円	計1,092,292千円	計499,565千円	計3,006,215千円	計2,205,713千円	計361,754千円
1月臨時補正		公共施設等における感染症対策の維持・強化 <ul style="list-style-type: none"> 指定養護所における感染症対策 小・中・高等学校等の感染症対策(保健衛生用品等の購入) 	社会経済活動を維持・再開するための取組み <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における応急手当講習 長崎歴史文化博物館の維持継続支援(公共サービス維持のための支援金) 	生活・暮らしへの支援 <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業 事業者等への支援 <ul style="list-style-type: none"> 営業時間短縮要請協力金【専決】 商店往等にぎわい復活支援(プレミアム付き商品券・イベント等) 	DXの推進 <ul style="list-style-type: none"> 議会タブレット購入 市役所サテライトオフィス環境整備 入札・契約事務の電子申請拡充 市役所フリーアドレス・ペーパーレス会議化(ノートPC購入) 既存産業の基盤強化 <ul style="list-style-type: none"> チャレンジ企業応援事業(DX・経営多角化・新製品・サービス開発) SNS等活用支援 クラウドファンディング活用支援 選ばれる21世紀の交流都市への転換 <ul style="list-style-type: none"> 観光地づくり推進(誘客プロモーション強化) 	保育、幼児教育など現場で働く方々の処遇改善 <ul style="list-style-type: none"> 賞金改善のための補助(保育士・幼稚園教諭・母子支援員・放課後児童支援員等)
2月補正				事業者等への支援 <ul style="list-style-type: none"> 就労継続支援事業所の生産活動拡大支援事業費補助金 	DXの推進 <ul style="list-style-type: none"> 住民記録システム改修(転出入の手続きワンストップ化) ロボット等導入支援費補助(障害者支援施設) 小中高等学校ICT推進(大型掲示装置・指導者用PC) 	
当初予算	医療の崩壊防止 <ul style="list-style-type: none"> 入院医療費公費負担 自宅療養サポート その他 <ul style="list-style-type: none"> 予備費の適時適切な執行 	検査体制の維持・強化 <ul style="list-style-type: none"> 長崎世帯外来・検査センターの運営 PCR検査の実施 妊婦への分娩前PCR等検査 公共施設等における感染症対策の維持・強化 <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センター、病児保育施設、民間保育所、放課後児童クラブ、保護施設等への感染症対策経費補助 障害福祉サービス事業所、原爆被害者養護ホーム等における感染者発生時のサービス継続費補助 市有施設の感染症対策 その他 <ul style="list-style-type: none"> 予備費の適時適切な執行 	社会経済活動を維持・再開するための支援 <ul style="list-style-type: none"> 感染症に係る相談窓口等の運営 新型コロナウイルスに感染した妊産婦への支援 育児等支援サービスの提供 指定管理者制度導入施設のサービス継続 	生活・暮らしへの支援 <ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭自立支援助成 事業者等への支援 <ul style="list-style-type: none"> 芸術文化活動再開対策補助金 	DXの推進 <ul style="list-style-type: none"> DXパッケージ2022・暮らし・交流・行政×デジタル ゼロカーボンシティの実現に向けた取組みの推進 <ul style="list-style-type: none"> ゼロカーボンパッケージ2022・再生可能エネルギーの拡大・脱炭素ライフスタイルへの転換 新たな産業の育成 <ul style="list-style-type: none"> 新産業の種を育てるプロジェクト・新規事業創出支援・第一次産業における新たな産業の育成 選ばれる21世紀の交流都市への転換 <ul style="list-style-type: none"> 観光地づくり推進 	保育、幼児教育など現場で働く方々の処遇改善 <ul style="list-style-type: none"> 賞金改善のための補助(保育士・幼稚園教諭・母子支援員・放課後児童支援員等)
その他	医療の崩壊防止 <ul style="list-style-type: none"> 入院病床の確保と効率的・効果的な活用 宿泊療養施設の効果的な活用 自宅療養者への支援 	円滑なワクチン接種体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> 3回目接種に関する接種間隔の前倒し 				

コロナ禍からの社会・経済の復興 主な取組み

感染拡大防止対策

医療の崩壊防止

●入院医療費の公費負担（324,705千円）

新型コロナウイルス感染症の陽性者のうち、入院が必要となった方の入院医療費の自治体負担分を負担します。

●自宅療養サポート運営（4,866千円）

自宅療養を行う新型コロナウイルス感染症の陽性者に対し、サポート医による電話診療や協力薬局による薬剤の配送などの医療サービスを提供します。

検査体制の維持・強化

●PCR検査等の実施（375,195千円）

発熱等の症状で保険診療によりPCR検査等を受けた方の検査費用のうち自治体負担分を負担するとともに、施設等におけるクラスター発生時の包括検査費用を負担します。

●長崎地域外来・検査センター運営（143,689千円）

効率的に行政検査ができるドライブスルー方式の検査センターを運営します。

公共施設等における感染症対策の維持・強化

●各種施設の感染症対策支援（299,104千円）

子育て支援センター、病児保育施設、民間保育所、放課後児童クラブ、保護施設、障害福祉サービス事業所、原爆被爆者養護ホームなどにおける感染症対策を支援します。

社会経済対策

社会経済活動を維持・再開するための支援

●新型コロナウイルス感染症 相談窓口等の運営（20,794千円）

新型コロナウイルス感染症に係る一般的な健康相談窓口を保健所内に設けるとともに、医療機関と長崎地域外来・検査センターとの受診や検査に係る調整などを行います。

事業者等への支援

●芸術文化活動再開応援補助（88,859千円）**NEW!**

感染症拡大防止のため公演等を中止・延期した市民文化団体等に対し、芸術文化分野の公演や展覧会など広く市民が鑑賞できる催事の開催を支援します。

ポストコロナ対策

新たな産業の育成

●新規事業創出支援（44,880千円）

企業間のオープンイノベーションの推進、スタートアップの創出・育成を通じたイノベーションの創出支援します。

- ・サテライトオフィス進出支援（23,621千円）**NEW!**
- ・行政のオープンイノベーションの推進（7,000千円）**NEW!**

選ばれる21世紀の交流都市への転換

●観光地域づくり推進（175,065千円）

観光地域づくりの舵取り役であるDMOと連携し、観光マーケティングの基盤づくり、国内観光客誘致・受入体制の強化、コロナ禍からの復興を見据えたインバウンド誘致、MICEの誘致から開催までをワンストップで支援する体制の強化などを行います。

人口減少克服・長崎創生

“若い世代に選ばれる魅力的なまち”をめざして

■基本目標1■

経済を強くし、新しいひとの流れをつくる



■魅力ある仕事をつくる

◎地元企業の新事業展開の推進と新産業の創出及び育成

新しい産業の創出に向けた取組みを**強化**します

■学び、暮らし、楽しむ魅力を高める

◎暮らす魅力の向上と発信

市営住宅を**子育て世帯向けの住戸**に**改善**します

市営住宅の建替えを進めます

◎楽しみの創出と魅力の発信

若者が楽しむ「ひろば」づくりに**着手**します

■基本目標3■

「まちの形」と
「まちを支えるしくみ」をつくる



■コンパクトで暮らしやすいまちをつくる

◎高次な都市機能を維持・集積

長崎都心まちづくり構想を**策定**します

長崎スタジアムシティ整備を**支援**します

■地域をネットワークでつなぐ

◎Society5.0実現に向けた技術活用の促進

デジタル化を**加速**させます

■コンパクトで暮らしやすいまちをつくる

◎将来に向けた公共施設等の見直し

ゼロカーボンシティへの**取組み**を進めます

■基本目標2■

子どもをみんなで育てる
子育てしやすいまちをつくる



■子育ての環境を充実する

◎子育ての負担軽減

子育て支援センターの**設置**を進めます

◎子どもの育ちへの支援

あぐりの丘に**全天候型子ども遊戯施設**が**完成**します

長崎東公園に**子どもの遊び場**を作ります

◎母と子の健康への支援

子育て世代包括支援センターの**機能**を**強化**します

■特定目標■

交流の産業化



■価値創造プロジェクト

◎資源の磨き上げ

恐竜パーククルーズ事業を**実証実験**します

グラバー園内の**世界遺産展示**を**リニューアル**します

■交流の産業化を進める体制づくり

◎長崎市版DMOの機能充実

DXによる**観光マーケティング**を**推進**します

■交流を支える都市の基盤整備

◎陸の玄関口の整備

西九州新幹線の**開業効果**を**最大化**します

人口減少克服・長崎創生

令和4年度『新規事業の創出・新事業展開の推進』に関する主な取組み

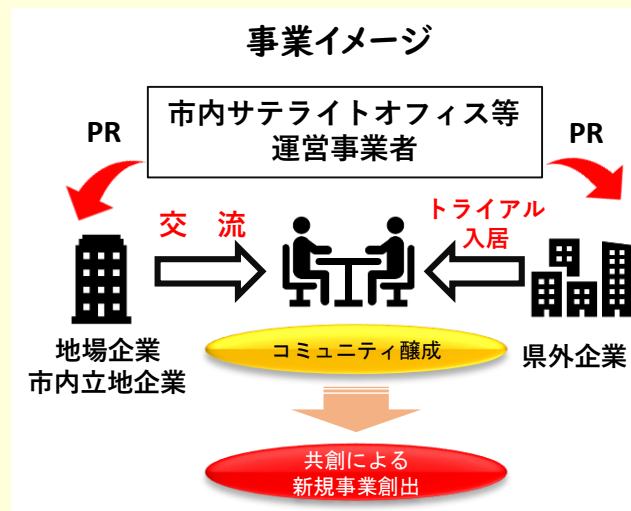
◆新規事業の創出

新規事業の創出に向けて
県外・地場企業の交流を通じ、コミュニティを醸成するため

サテライトオフィスの進出を促進させます

予算額 2,362万1千円

- ・サテライトオフィス運営事業者の支援
- ・市内でテレワークを試行する企業の支援
- ・市内へのサテライトオフィス進出企業の支援
- ・首都圏の企業と市内サテライトオフィス等のマッチングイベント等の開催



◆新事業展開の推進

時代を取り巻く環境の変化に対応する事業者を支援するため

企業の**新たなチャレンジ**を**応援**します

予算額 1億5,021万2千円

- ・新事業展開の支援
- ・新製品・新サービスの開発の支援
- ・事業拡大の支援
- ・DX推進による生産性向上の支援
- ・テストマーケティングの支援



人口減少克服・長崎創生

令和4年度『暮らす・楽しむ魅力の向上』に関する主な取組み

◆暮らす魅力の向上

市営住宅の一部をリフォームし、
子育て世帯向けの住戸を供給します

子育て世帯向け住戸改善 20戸 (1億2,500万円)

《住みよかプロジェクト》

改修イメージ



浴室



壁掛けフック



対面キッチン化



ベビーゲート
(設置スペース)

◆暮らす魅力の向上

野母崎地区の
市営住宅の建替えをします

(仮称)野母崎団地の建設 20戸 (2億9,520万円)

《住みよかプロジェクト》

野母崎地区の市営住宅を集約し、地域の担い手となる若い世代(新規就労者、移住者、子育て世帯など)の入居者にも対応できるよう多様な住戸を整備します。

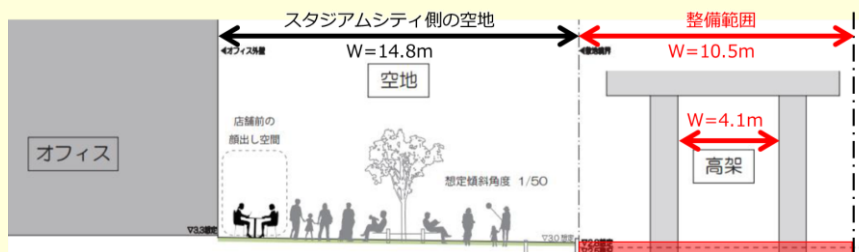
◆若者の楽しみの創出

長崎スタジアムシティ前的高架下に「若者が楽しむことができる場」を創出するため

「(仮称)若者ひろば」の設計を進めます

予算額 480万円

《長崎×若者プロジェクト》



イメージは構想段階のため、今後デザイン含め変更の可能性があります。
(提供) ジャバネットホールディングス



イメージは構想段階のため、今後デザイン含め変更の可能性があります。
(提供) ジャバネットホールディングス

人口減少克服・長崎創生

令和4年度『子育て環境の充実』に関する主な取組み

◆子育ての負担軽減

市内の**3か所**で**子育て支援センターの開設・移転**を進めます

<令和4年度> 令和5年3月予定

- ・江平・山里区域
(開設場所) 天主公園横
- ・淵・緑が丘区域
(移転場所) 長崎ブリックホール1階

<令和5年度>

- ・(開設予定) 丸尾・西泊・福田区域
※令和4年度に実施設計等、準備に取り掛かります。

令和4年度開設・移転分 **予算額 8,700万円**
令和5年度開設予定分 **予算額 870万円**



◆子どもの育ちへの支援

**あぐりの丘に
全天候型子ども遊戯施設がオープン**します

予算額 4億2,306万6千円

- ・雨の日でも子どもたちが
思いっきり遊べる施設
- ・供用開始日
令和4年10月28日



(イメージ図)

◆子どもの育ちへの支援

長崎東公園に子どもの遊び場を作ります

予算額 3,680万円

- ・屋外遊具と一体となった屋内遊び場の整備
- ・親が子どもを見守りながら休憩・交流ができるスペース
- ・完全個室の
ベビーケアルーム設置



人口減少克服・長崎創生

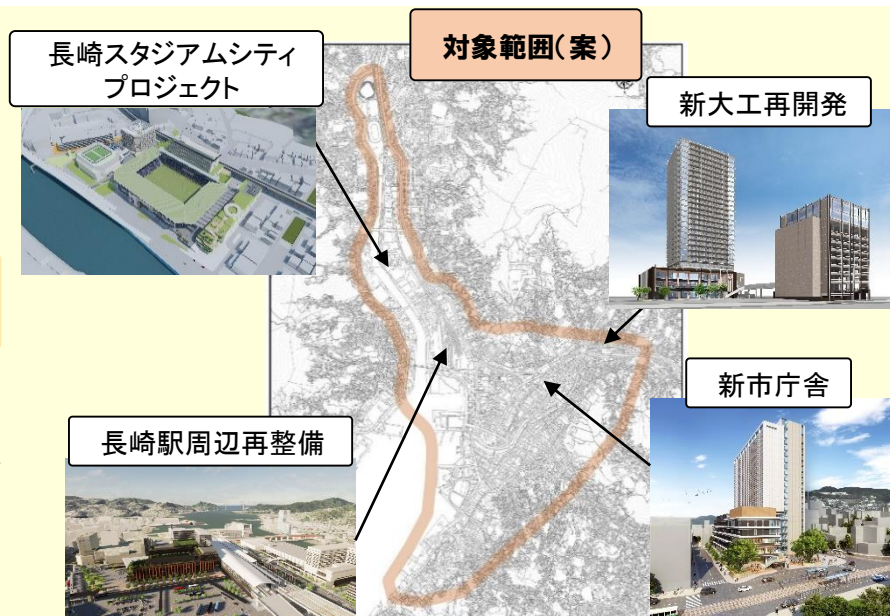
令和4年度『まちづくり施策』に関する主な取組み

◆高次な都市機能の維持・集積

都心部全体を俯瞰した将来のまちづくり方針
「長崎都心まちづくり構想」を策定します

予算額 500万円

長崎市の発展のために、
エリア毎に将来のまちづくりの方針を示しつつ、
今後、浦上川沿いや臨海部で進む大型プロジェクトの効果を
都心部全体に波及させ、
都心部全体の活性化に繋がります。



◆高次な都市機能の維持・集積

長崎スタジアムシティの整備を支援します

市民の楽しみの場と
日常的に開放された空間の創出を図り、
良好な市街地環境を形成するため、
(株)ジャパネットホールディングスが進めている
長崎スタジアムシティの整備を支援します。

また、安全かつ円滑な交通を確保するため、
周辺道路の整備を進めます。

予算額 5億4,100万円



イメージは構想段階のため、今後デザイン含め変更の可能性があります。
(提供) ジャパネットホールディングス

長崎市DX推進計画（案）

「人」が主役のまちづくりを、
デジタル技術で加速させる。

知恵と熱意、ネットワークとフットワークが大事！



コロナ禍で人々の価値観や生活様式が大きく変化するなかで、世界中のどの都市も様々な課題を抱えています。

長崎市も例外ではありません。

デジタル技術には、その様々な課題を解決し、社会を大きく進化させる可能性を秘めています。

そのデジタル技術さえあれば、

私たちは幸せになれるのでしょうか？

そんなことはありません。

課題の本質を見極め、ありたい未来を想像し、

多くの人と協働するプロセスは、

デジタル技術だけでは実現できないことです。

誰が、誰の、どんな未来を、どうやって実現するのか。

スタートからゴールまで、プロセスの中心にいる

「人」のことを考えなくてはなりません。

どうすれば、住む人も、訪れる人も、

もっと快適で、楽しめるまちになるのか？

行政の職員も、市民も、いっしょに考えながら、より良い長崎をつくっていく。

長崎市はデジタル技術を活用しながら、

人にやさしい、「人」が主役のまちづくりをすすめます。

DX パッケージ 2022

まず何から
取組むの？



DX パッケージ 2022 って？

現在策定中の長崎市DX推進計画の方針に沿って、最初の3年間（令和4（2022）年度～令和6（2024）年度）の重点取組みを定め、令和4年度に取り組むDX関連事業を **DX パッケージ 2022** としてまとめました。

長崎市DX推進計画の概要 (令和4（2022）年度～令和12（2030）年度)

<コンセプト>

「人」が主役のまちづくりを デジタル技術で加速させる。

デジタル化で変わる市民の暮らし

デジタル化で何を指すの？

暮らし × デジタル

= 地域の課題が解決され
自分らしい暮らしが実現

デジタル化で変わる訪れる人の過ごし方

交流 × デジタル

= 多様なつながりと
新たな体験・価値を実感

デジタル化で変わる市役所

行政 × デジタル

= 一人ひとりにあった
利用しやすい行政サービス

【基本方針】

- デジタル・デバイスのない暮らしの実現
- 暮らしを支える基盤の最適化
- 活躍の機会を創出
- 変化に対応できる人材の育成
- まちの魅力向上
- スマート市役所への変革

令和4年度～6年度の重点取組み

デジタル化で見込まれる効果が高い取組みを、最初の3年間で重点的に取組みます。

まずは
ココから!!

子育て世帯をサポート

「若い世代に選ばれる魅力的なまち」を目指し、仕事・家事・育児に奮闘する子育て世帯の負担をデジタル化でサポートします！

その他の取組み／

- デジタル技術で社会参加をサポート
- 都市OS（データ連携基盤）の活用

魅力の発信と人の流れの創出

長崎の特徴であり、強みでもある「交流」の歴史。デジタルの力で地域資源に磨きをかけ、その人にあった情報発信と、新たなサービスで人を呼び込みます！

その他の取組み／

- XRコンテンツの創造

スマート市役所の基盤づくり

自宅や職場から様々な手続きやサービスを利用できる、窓口での負担も軽減する市役所へ変わります。

その他の取組み／

- テレワークの推進

令和4年度に実施する事業予算
(DX パッケージ 2022)

総額 **11億2,235万4千円**
(令和3年度補正・令和4年度当初予算)

重点

2億2,065万2千円

- 子育てアプリを活用した母子保健サービスデジタル化の検討
- 安心・安全な家庭学習環境の提供 918万6千円
(クラウドフィルタリング)
- GIGAスクール運営支援センターの設置 3,586万1千円
- 学校大型提示装置（モニター）の更新 1億682万7千円
- 民間保育所・子育て支援センターにおけるICT化の推進支援 2,000万円 など

重点

1億92万2千円

- 新たに開設する観光案内所のデジタル化
- 情報収集・発信の強化等（DMO） 7,072万3千円
- 県外企業のサテライトオフィス設置支援 2,362万1千円など

重点

1億7,689万5千円

- 行政手続きオンライン化に向けた環境整備 6,202万円
- 総合窓口の整備 7,026万5千円
- 地理情報システム（GIS）を活用した行政情報の提供 684万9千円など

- 本格的なテレワーク実施に向けた環境整備 3億9,253万4千円 など

DX パッケージ 2022

具体的に
どう変わるの？



計画のスタートとなる令和4年度のDXパッケージ2022では、**こんな変化を目指していきます。**

令和4年度～6年度の重点取組み

暮らし

子育て世帯をサポート

DXパッケージ2022

2023

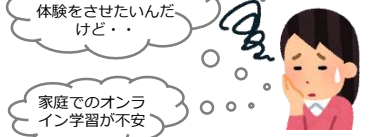
2024

私たちの思い

子どもの健康記録って大変・・・

子どもにいろいろな体験をさせたいんだけど・・・

家庭でのオンライン学習が不安



(before)

- ・子育てアプリの導入を検討
- ・ひとり一台パソコンの安全な持ち帰り
- ・GIGAスクール運営支援センターの設置
- ・民間保育所等のICT化を支援

○子育て世帯の負担や不安を減らし、パパママのゆとり時間を増やしたい
○学校に通えない状況になっても、一人ひとりに寄り添い、安心して学習してほしい

【子育てアプリ】
子育て関係のサービスがスマホで利用でき、便利で簡単に。



【イベント情報を集約】
様々な体験ができるイベント情報へ簡単にアクセス。



【オンライン学習の充実】
ひとり一台配布されたパソコンを活用して、コロナ禍でも、オンラインで安心して家庭学習が可能。一人ひとりに寄り添った学習を提供。



(after)

交流

魅力の発信と人の流れの創出

DXパッケージ2022

2023

2024

旅先での情報収集って大変・・・

自分の興味に合わせてくれるプランがほしい

自然豊かな場所で働きたい！



(before)

- ・観光案内所開設
- ・AIチャットボット導入
- ・情報収集・発信強化
- ・県外企業のサテライトオフィス進出促進
- ・ワーケーション・テレワーク促進

○訪れる前のワクワクを超える旅先での体験やおもてなしを届けたい
○長崎の魅力を知って、実感してもらって、長崎のファンを増やしたい

【スマート観光案内所】
新たに開設する観光案内所では、多言語対応アプリを導入したタブレットで、スムーズな案内が可能。手話通訳ともオンラインでつないで、障害がある方へも最適な観光情報を提供。



【情報発信】
AIチャットボットでの観光案内で、サクサク情報検索。旅先でもひとり一人の興味に合わせて、ピンポイントで使える情報を取得。



【サテライトオフィス・ワーケーション支援】
サテライトオフィスで県外の企業と地場企業の異業種交流が盛んに。また、ワーケーションで長崎の魅力を体感し、移住を決意。



(after)

行政

スマート市役所の基盤づくり

DXパッケージ2022

2023

2024

行政情報の閲覧に来るのが面倒・・・

窓口で何度も同じことを書かれる・・・

窓口で待たされる時間がストレス・・・



(before)

- ・行政手続きオンライン化
- ・総合窓口システム構築・運用
- ・GISで都市計画図など公開
- ・オンライン相談拡充
- ・契約事務のデジタル化検討

○行政手続きって何かと時間がかかって面倒くさい、その不満、デジタルで解決！
○暮らしに、仕事に必要な様々な行政情報を、必要な人に必要な時に届けたい

【行政手続きのオンライン化】
書かない、待たない、行かない。いつでも、どこからでも行政手続きができるように。仕事や用事で平日に時間がない方でもストレスフリーに手続きが可能。



【総合窓口】
複数の手続きがあってもいろいろな窓口を回る必要がなくなり、何度も同じ内容を書かずに済むように。



【公開型GIS】
都市計画決定情報など、様々な行政情報が窓口に来なくても閲覧可能に。忙しい事業者のみなさんにやさしいサービスを。



(after)

ゼロカーボンパッケージ 2022

2022年

「ゼロカーボン元年！」
ゼロカーボンパッケージ
スタート～！

2021年

「ゼロカーボンシティ長崎」
宣言！

エコ活動を
楽しい！
かっこいい！
得する！へ

2007年（基準年）

224万5千トン-CO₂/年



2050年

実質ゼロへ



2030年

▲43%
(2007年度比)

「ゼロカーボンシティ長崎」の実現
に向けた2つの軸

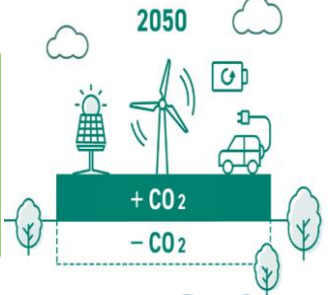
- ①脱炭素ライフスタイルへの転換
- ②再生可能エネルギーの活用による
エネルギーの地産地消の拡大

ゼロカーボンパッケージ 2022

2022年度

2030年度

2050年度



「ゼロカーボンシティ長崎」宣言

2030年の削減戦略

戦略をリードする野心的数値目標

【削減戦略1】
まち歩きを楽しめる
脱炭素な都市の形成

【市域】
●市内自動車保有台数に占めるEV・PHEVの割合を2030年までに20～25%にする
【市役所】
●公用車(特殊車両除く)の総数に占めるEV・PHEVの割合を2030年までに50%にする

【削減戦略2】
環境にやさしいエネルギーの活用と環境関連産業の活性化

【市域】
●市域のエネルギー消費量のうち、再生可能エネルギーの割合を36～38%にする
【市役所】
●市保有の建築物のうち太陽光発電設備が設置可能な施設への導入割合を50%にする

【削減戦略3】
省資源・循環型のまちづくり

【市域】
●燃やされているプラスチック製品を2030年までにゼロにする
【市役所】
●ペーパーレス化を推進し、2030年までに紙の使用量を2020年度比50%以上削減する

【削減戦略4】
日常生活や事業活動の脱炭素化への転換

【市域】
●新築住宅のうちZEH基準(ZEH、Nearly ZEH、ZEH Oriented)の省エネ性能に適合する住宅の割合を2030年までに60%以上にする
【市役所】
●既存を含めた市の施設全体のLED照明の導入割合を2030年までに100%にする

🌳 二酸化炭素吸収 🌳

森林の整備
藻場の整備
農業分野などにおける二酸化炭素の利活用

エコカー
ってかっこ
よかなあ～

環境によか
ことって何
やろう？

自分にでき
ることって
何かなあ？



水素自動車で
CO2排出ゼロ！
静かで快適
空気もきれいか～

省エネ・再エネ
でCO2削減
電気代も安かよ～

みんなの生活が
自然にエコ活動
になったら～！



ゼロカーボンパッケージ 2022

令和4年度の主な取組み

総額 3億3,655万円

1 脱炭素ライフスタイルへの転換

【削減戦略1】

- ・ 急速充電設備の整備: 2,300万円
(長崎のもぎき恐竜パーク、道の駅夕陽が丘そとめ)

【削減戦略3】

- ・ 使用済ペットボトルを繰り返し再生する実証事業 (ボトルtoボトル)

【削減戦略4】

- ・ 住宅性能向上リフォーム補助 (断熱改修) : 1,000万円
 - ・ 建物環境の整備に係る中小企業向け融資制度 : 4,962万円
 - ・ 市民環境活動応援費 (若者と団体) : 200万円
 - ・ 国際理解教育推進費 (海外都市とのこども国際会議) : 244万円
 - ・ ふれあいセンター等のLED化 : 7,140万円
- 【CO₂削減量】
⇒ ▲約 42トン/年

2 再生可能エネルギーの活用によるエネルギーの地産地消の拡大

【削減戦略2】

- ・ 新市庁舎へのRE100電力の供給開始
 - ・ 再生可能エネルギー活用推進費 : 5,119万円
- 市域、公共施設の再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査
○エネルギー版産学官民連携スタートアップ事業
- ⇒ ▲約 1,853 トン/年

3 二酸化炭素吸収

- ・ 水産資源再生事業費 人工藻場礁(リーフボール)の設置 : 2,993万円

新幹線開業に向けた取り組み

5つの基本方針に沿って、西九州新幹線の開業効果を最大限に引き出す取り組みを行っています

新幹線N700S
「かもめ」



市民の気運醸成

多様な媒体やイベントなどで開業PRを行い、開業に向けて市民の気運醸成を図ります

誘客促進

デスティネーションキャンペーンなど来訪意欲を高める仕掛けづくりや開業を見据えたプロモーションを行います



・まちぶらプロジェクト10周年イベント **150万円**

市民や観光客がまちなかエリアを巡り、魅力を体感してもらうイベントの開催

・全国都市問題会議開催費負担金 **2,800万円**

令和4年10月13日(木)～14日(金)に出島メッセ長崎にて、全国の市長など約2,000名が一堂に会する会議を開催



市内各地への周遊促進

市内各地への周遊促進のために、ワンストップによる観光や二次交通等の案内などを強化し、長崎駅を拠点とした周遊しやすい環境整備を行います

・新総合観光案内所整備 **8,600万円**

多言語対応、ユニバーサルツーリズム対応などのワンストップでのコンシェルジュ機能を有する観光案内の設置



訪問客の満足度向上

おもてなしの向上、滞在環境の充実および観光コンテンツの魅力向上を行い、訪問客の満足度を高めます

産業の振興

民間事業者が新幹線開業をビジネスチャンスとしてとらえることができるように支援し、経済の活性化を図ります

新幹線開業に向けた取り組み

・まちぶらプロジェクト10周年イベント
150万円

「まちぶらプロジェクト」により魅力が増した
まちなかエリアを体感してもらい、さらなる
賑わいの創出につなげていくため、「まちぶら
プロジェクト10周年イベント」を開催する
(令和4年秋頃開催予定)

・全国都市問題会議開催費負担金
2,800万円

各都市が抱える共通の課題の解決に寄与
するとともに、市内の観光・MICE関連産業
に高い経済波及効果をもたらすことをめざす

【会議名】 第84回全国都市問題会議

【開催予定日】 令和4年10月13日(木)～14日(金)

【会場】 出島メッセ長崎



【内容(仮)】

テーマ:「個性を活かして『選ばれる』まちづくり

～何度も訪れたい場所になるために～

(1日目)基調講演、地元市長主報告、一般報告

(2日目)パネルディスカッション 行政視察

(参加者見込:約2,000名)

みんなで
#まちぶらプロジェクト



新幹線開業に向けた取り組み

【単独】観光施設整備事業費 総合観光案内所
総合観光案内所改修工事費 3,600万円

西九州新幹線の開業(令和4年度秋頃)に合わせ、現在の総合観光案内所を新駅舎1階に移転整備します ※200㎡(九州最大規模)

【事業期間】 令和3年度～令和4年度

【総事業費】 8,600万円

R3:5,000万円

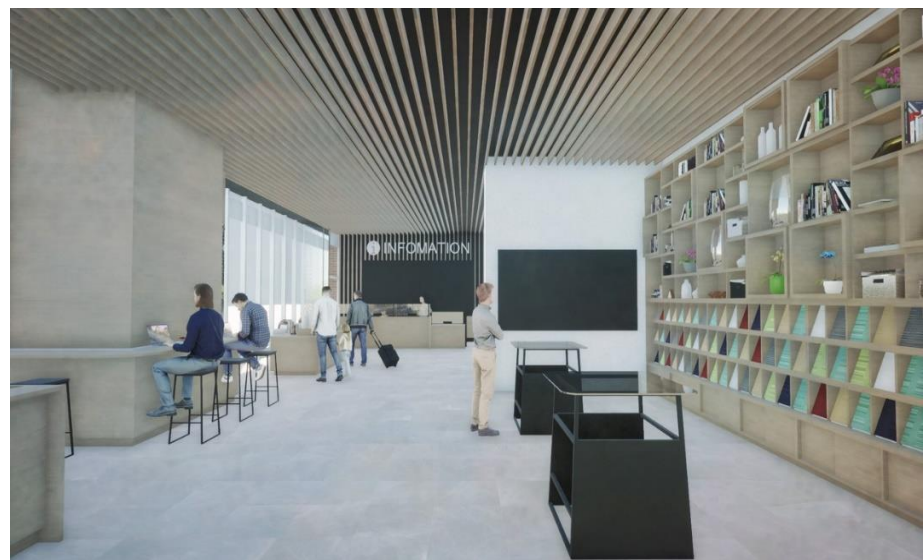
R4:3,600万円

【概要】

- ・ワンストップサービスの提供
- ・コンシェルジュの配置
- ・AIを活用したFAQシステムの導入

【供用開始】

令和4年度秋頃（西九州新幹線開業時）



出入口からの視線

シーボルト来日200周年

記念事業費

1,261万9千円

シーボルトの最初の来日から200周年にあたる令和5年度は、長崎と日蘭・日独との交流の歴史が注目される年であることから記念事業の準備などに取り組みます



【令和4年度の取組み】

◆ 記念事業実行委員会の立ち上げ

◆ 鳴滝塾模型複製品の製作

◆ 川原慶賀筆屏風複製の制作

◆ 出島における旗竿の再現



鳴滝塾模型
(ミュンヘン五大陸博物館所蔵)



川原慶賀筆屏風「長崎湾の出島の風景」
(ライデン国立民族学博物館所蔵)

長崎が持つ歴史価値の顕在化を図る

遠藤周作生誕100年

記念事業費

2,014万4千円

総事業費(R4～5年度) 4,314万4千円

令和5年3月27日に遠藤周作生誕100年を迎えます
令和4～5年度を『遠藤周作生誕100年』の記念の年とし、
遠藤文学の魅力を広く市内外へ伝え、その功績を称えると
ともに、それらを次世代につなぐ事業を実施します

【主な事業】

- ・生誕100年記念特別企画展
- ・生誕100年記念特別講演会
- ・文学館公式ガイドブック創刊
- ・縁のある人たちが語る遠藤周作のエピソード等の収録アーカイブ映像制作



PEACE100 アクション

【策定の目的】

被爆100年を見据え、被爆者のいない時代においても、被爆地長崎が使命を果たしていくため、被爆者の声を聞ける今しかできないことや、今のうちに準備しておかなければならないことを明らかにし、戦略を持って取り組むため

PEACE100 アクションにおける
2つの基本方針

被爆の記録と記憶を
未来につなげます

平和について考え行動
する人を増やします

被爆の記憶プロジェクト

平和の文化プロジェクト

原爆資料館進化プロジェクト

PEACE100 アクション

PEACE100 アクション関連事業費

3,172万9千円

	事業名	事業費
被爆の 記憶P	保存整備活動費 ・収蔵資料カルテ作成・資料整理 ・カラスザンショウレプリカ制作	896万1千円
	【補助】被爆建造物等保存整備事業費 長崎県防空本部跡(立山防空壕)	1,450万円
	被爆建造物等公開費 ・旧城山国民学校校舎ストリートビュー制作 ・ARコンテンツ制作	510万6千円
平和の 文化P	「平和の文化」醸成事業費	268万5千円
資料館 進化P	長崎原爆資料館運営費 ・長崎原爆資料館運営審議会の開催	47万7千円

出島の「特別史跡」、「重要文化財」指定に向けた取組み

出島発掘調査総括報告書の作成

711万6千円

昭和44年から始まった史跡「出島和蘭商館跡」の発掘調査において史跡内の主だった調査が終了している現段階をひとつの区切りとして「**特別史跡**」及び「**重要文化財**」の指定に向け、これまでの調査成果を総合的に分かりやすく集約した総括報告書の作成に取り組めます

出島の価値を具体的に示す

総括報告書の作成（令和4年度～）

- ・出島の学術的価値を後世に正しく継承します
- ・今後の復元整備や魅力ある展示に活用します
- ・長崎独自の魅力として、出島を広く発信します
- ・国内外の歴史研究に寄与します

出島の価値を高める

- ✓ 史跡「出島和蘭商館跡」の「**特別史跡**」の指定と、出土遺物の「**重要文化財**」の指定を目指します



発掘調査風景



出土遺物(例)



障害者の支援体制の強化

障害福祉センターの医師等の増員 2,712万1千円

※増員に係る経費2,712万1千円から診療報酬を差し引いた指定管理委託料1,004万7千円を予算計上

障害福祉センター診療所において、発達障害児等の診療数が増加しているため、医師や臨床心理士等を増員することにより、受入体制の充実を図り、診療待機期間の短縮を目指します

	現在	増員後
常勤医師（小児科）	2人	3人（1名増）
臨床心理士	4人	5人（1名増）
看護師（小児科）	2人	3人（1名増）

障害福祉センター診療所

診療所には、小児科、整形外科、リハビリテーション科、精神科があり、外来診療を行っている。

発達障害児等の診察・治療を行うほか、診察に基づく療育を行っている。



障害者の支援体制の強化

基幹相談支援センターの設置

1,300万円

障害者の相談支援体制の強化を図るため、社会福祉士、精神保健福祉士等の専門的職員を配置した基幹相談支援センターを設置し、相談支援事業所等と連携して、困難事例への対応や各事業所の相談員に対し、指導・助言、人材育成の支援等の業務を総合的に行います

基幹相談支援センターの役割

(1) 総合的・専門的な相談支援

- ・ 障害種別や各種ニーズ、困難事例への対応

(2) 地域の相談支援体制強化

- ・ 各相談支援事業所への助言・指導
- ・ 人材育成の支援 ・ 連携強化の取組

(3) 地域移行・地域定着の促進

- ・ 入所施設や精神科病院との調整
- ・ 地域の体制整備に係るコーディネート

(4) 権利擁護・虐待の防止

- ・ 障害者への成年後見制度の周知
- ・ 障害者虐待防止センターとの連携、対応



有害鳥獣対策

関連事業費

1億1,204万6千円

イノシシ・シカ等の有害鳥獣対策については、①防護、②棲み分け、③捕獲の3対策を実施するとともに、地域住民が連携した「地域ぐるみの取組み」を推進しています
有害鳥獣による生活環境被害は依然として多く、今後においても、市民の安全安心につなげるため、新たな取組みを行い、引き続き被害軽減に努めます

【拡大】有害鳥獣対策防護柵設置

1,000万円

被害が多発している市街地において、市道を活用した広域防護柵の設置を進め、被害減少の有効性を検証します。

■ 設置箇所：長崎・浦上地区（浜平～江平 西町～虹が丘）



【新規】市民提案型協働事業

89万5千円

ドローンを活用した、有害鳥獣の追払いや動向に関する調査を行い、有害鳥獣対策の効率化を図ります。

■ 委託先：特定非営利活動法人 長崎ドローン情報センター

